

令和7年度当初予算 概要

令和7年2月
港湾空港局

1 令和7年度 予算規模

(単位:百万円)

	令和7年度 当初予算案(A)	令和6年度 当初予算(B)	増減 (A)－(B)
一般会計	11,423	9,459	1,964
特別会計	6,445	5,865	580
港湾整備 特別会計	5,744	5,109	635
土地取得 特別会計	126	11	115
空港関連用地 整備特別会計	3	3	0
臨海部産業用地 貸付特別会計	469	637	▲ 168
市民太陽光 発電所特別会計	103	105	▲ 2
合計	17,868	15,324	2,544

※一般会計については、職員給与費を含まない。

2 主要施策

「稼げるまち」

- ・ 港湾では、新たな長期構想と港湾計画に基づき、機能強化と利用促進、2024年問題対応、港湾施設マネジメントの推進、風力発電関連産業の総合拠点化に取り組む
- ・ 空港では、滑走路延長を起爆剤とした物流拠点化に向けた機能強化、路線誘致や集貨・集客等の利用促進、アクセス強化等に取り組む

「彩りあるまち」

- ・ 国内外からの多くの観光客や市民等が訪れ、楽しめるよう、港湾と空港の魅力向上と賑わいづくりに取り組む

「安らぐまち」

- ・ 市民の安全・安心を守るため、港の防災・減災対策と港湾施設の老朽化対策に取り組む

1 北九州港

(1) 北九州港の機能強化

アジアの「物流拠点」を目指し、港湾機能の強化や企業版ふるさと納税を活用した港湾施設の安全対策に取り組む、稼げる基盤をつくる。

《主な事業》

- ・新規)新門司地区交通安全対策事業 【20百万円】
- ・拡充)太刀浦第2コンテナターミナルコンテナクレーン更新事業(特会) 【1,373百万円】
- ・拡充)太刀浦地区施設整備調査検討事業 【94百万円】



【太刀浦コンテナクレーン】



【太刀浦地区施設整備調査検討箇所】

(2) 北九州港の利用促進

北九州港の航路維持・拡大及び集貨拡大を目的として、新たな航路・貨物やフェリー・RORO航路の新規利用に対する補助を行う。

《主な事業》

- ・拡充)港湾利用促進支援事業(特会) 【100百万円】
- ・拡充)海上モーダルシフト促進事業 【7百万円】



【フェリー・RORO船】

(3) 港湾施設マネジメントの推進

港湾施設の集約・利用転換、民間活力の導入による施設の再配置を行うことを目的として、必要となる現地測量や利用状況の調査・分析等を行う。

《主な事業》

- ・拡充)港湾施設マネジメント推進事業 【83百万円】
- ・拡充)港湾施設マネジメント推進事業(特会) 【8百万円】

(4) 風力発電関連産業の総合拠点の形成

風力発電関連産業の総合拠点を形成するため、企業誘致活動や普及・啓発活動を実施するとともに、洋上風力O&Mの競争力を強化するための支援を行う。

また、「浮体式」基礎の普及を見据え、響灘西地区用地における整備方針の検討を行う。

《主な事業》

- ・新規)浮体式拠点開発検討事業 【10百万円】
- ・新規)洋上風力O&M競争力強化事業 【6百万円】
- ・洋上風力関連産業用地整備事業 【464百万円】
- ・響灘洋上風力発電拠点化推進事業 【9百万円】



【風力発電関連産業の総合拠点化のイメージ】

(5) カーボンニュートラルポート(CNP)の形成

官民連携による継続的かつ計画的な港湾の脱炭素化の取組みを進めるため、脱炭素化推進協議会を開催し、港湾脱炭素化推進計画の更新等を行う。

《主な事業》

- ・拡充)カーボンニュートラルポート(CNP)推進事業 【13百万円】

(6) みなとの賑わいの創出

国内外の観光客の呼び込みや、みなとの賑わいを創出することで、市内経済の活性化及びみなとを核としたまちづくりを推進する。

《主な事業》

- ・拡充)クルーズ船誘致・受入事業 【54百万円】
- ・拡充)みなとオアシス推進事業 【5百万円】



【クルーズ船】

(7) 防災・減災対策

高潮災害から立地企業を守ることを目的として、防潮堤の整備(新門司地区)を行う。

《主な事業》

- ・海岸(高潮)事業 【30百万円】



【新門司マリナー】

2 北九州空港

(1) 旅客・アクセス

新規路線就航や増便の受入れに向け、ハンドリング等の人材不足を解消するため、働きやすい職場環境づくりの支援に取り組み、新規就労等を促進する。
また、空港アクセスについて、エアポートバスの増便や最寄駅への特急停車等による利用促進を実施する。

《主な事業》

【旅客】

- ・新規)広域集客促進事業 【26百万円】
- ・拡充)空港受入体制強化事業 【11百万円】
- ・新規)航空路線支援事業 【125百万円】



【国内外の旅客定期便】

【アクセス】

- ・拡充)空港アクセス強化事業 【125百万円】
- ・空港アクセス事業 【115百万円】



【朽網駅特急ルート(令和7年4月1日開始)】

(2) 貨物

半導体貨物等の集貨、北九州空港への物流ルートの構築に向けたトラック経費の支援、国際貨物を取り扱う通関体制の確立に向けた人材・機能面の支援に取り組む。
また、持続可能な物流の構築に向けて、新たにGSE車両(貨物搭降載車両)の共有化支援を実施する。

《主な事業》

- ・航空物流支援事業 【225百万円】
- ・次世代航空物流構築事業 【65百万円】



【国内外の貨物定期便】

(3) 魅力向上・機能強化

開港20周年を迎える(令和8年3月)北九州空港が、国内外の利用者から選ばれる空港になるため、地域の魅力を生かしたイベント等、更なる魅力向上や賑わいづくりに取り組む。
また、物流拠点化の機能強化に向けて、貨物拡張地区への物流施設・事業者の集積を図るため、上下水道等のインフラを整備する。
加えて、空港の価値や競争力強化に向けて、新技術の導入検討を進める。

《主な事業》

【魅力向上】

- ・新規)空港魅力向上事業 【50百万円】
- ・新規)空港開港20周年記念事業 【2百万円】

【機能強化】

- ・新規)次世代空港機能強化事業 【95百万円】
- ・拡充)イノベーション空港推進事業 【15百万円】



【魅力向上・賑わいづくり(イベント等)】



【物流機能の強化(インフラ整備)】

3 主な事業

「稼げるまち」の実現

●稼げる「基盤」をつくる

北九州港

新規	・新門司地区交通安全対策事業	20百万円
	「企業版ふるさと納税」を活用し、マリナクロス新門司の港湾施設である、道路白線や交通標識の整備など交通安全対策に係る事業を実施	
新規	・港湾施設消防設備等更新事業	10百万円
	公共上屋等に設置されている消防設備の取替え等の更新を実施	
拡充	・太刀浦第2コンテナターミナルコンテナクレーン更新事業(特会)	1,373百万円
	荷役作業の効率化と港湾機能の強化を図るため、太刀浦第2コンテナターミナルのコンテナクレーン更新工事を実施	
拡充	・港湾施設マネジメント推進事業	83百万円
	施設の集約・維持管理費の抑制及び民間投資による収入増加を図ることを目的として、測量を実施し民間への売却を実施	
拡充	・港湾施設マネジメント推進事業(特会)	8百万円
	港湾施設の集約・利用転換、民間活力の導入による施設の再配置を行うことを目的として、計画作成に必要となる現地測量や利用状況の調査・分析等を実施	
拡充	・機能施設事業維持費(特会)	522百万円
	市所有の上屋等の維持補修を行う他、今年度は複数の港湾関係企業が入居する管理棟のトイレを改修し、働く女性の職場環境の改善を実施	
拡充	・港湾利用促進支援事業(特会)	100百万円
	北九州港に寄港する船会社の航路維持・拡大及び集貨拡大を目的として、新たな航路・貨物に対する補助を実施	
拡充	・海上モーダルシフト促進事業	7百万円
	2024年問題の解決と物流における環境負荷低減の促進を目的として、陸上輸送から海上輸送への転換を図るため、フェリー・RORO航路を初めて利用する事業者に対する補助を実施	
拡充	・太刀浦地区施設整備調査検討事業	94百万円
	北九州港東部地区における新たな土砂処分場整備の事業着手前の行政手続きに必要な調査や基本設計等を実施	
拡充	・カーボンニュートラルレポート(CNP)推進事業	13百万円
	「ゼロカーボンシティ」の実現に向けて、国際物流の結節点かつ産業の拠点となる港湾における脱炭素化の取組みを推進	
	・響灘臨海工業団地立地促進事業	1,385百万円
	響灘臨海工業団地において、立地を希望する企業の土地需要に応えるため、国有地を取得し、企業への売却を実施	
	・響灘東地区処分場整備事業	1,600百万円
	次期廃棄物・土砂処分場の整備を目的として、現行の響灘西地区処分場が満杯となる令和13年度までに事業完了させるため、護岸整備工事を実施	

北九州空港

- 新規** ・次世代空港機能強化事業 **95百万円**
貨物取扱機能の向上を目的に、拡張された貨物地区への物流事業者の集積を図るため、上下水道等インフラ整備を実施
- 新規** ・広域集客促進事業 **26百万円**
国内外の旅客需要の取込みを目的に、北九州空港を起点に博多・大分方面へのアクセス利便性向上に向け、MaaS事業(シームレス決済)を実施
- 拡充** ・空港アクセス強化事業 **125百万円**
バスや鉄道などの多様な交通手段を生かした空港アクセス強化を目的に、エアポートバスの増便や最寄駅への特急停車による利用促進等を実施
- 拡充** ・イノベーション空港推進事業 **15百万円**
最先端技術の活用による空港の競争力強化・差別化や、電動航空貨物機(eCTOL)の社会実装に向け、民間事業者と連携し、充電設備の基本計画を検討
- 拡充** ・空港受入体制強化事業(苅田町連携) **11百万円**
新規路線の就航や増便を受け入れるハンドリング等の人材不足が問題となる中、新規就労・活躍を促進するため、休憩施設や更衣室等、女性をはじめ誰もが働きやすい環境整備を実施
- ・航空物流支援事業(県・町連携) **183百万円**
大型貨物定期便の誘致・安定化や貨物の取込み、通関機能の確立を目的として、航空会社への運航支援や貨物重量に応じた集貨支援、通関体制構築に伴う人件費等支援の取組みを実施
- ・新規航空路線支援事業(県・町連携) **125百万円**
新規航空路線の誘致や就航路線の安定化を目的に、航空会社への運航支援や利用促進等に取り組む他、新規就航に係る設備投資への支援を実施
- ・空港アクセス事業 **115百万円**
空港アクセス利便性の確保を目的として、主な交通手段であるエアポートバスなどの運行支援の取組みを実施
- ・次世代航空物流構築事業 **65百万円**
物流の2024年問題や半導体産業等への活発な投資を受け、次世代物流の構築を目的として、国内貨物定期便の集貨や半導体貨物への重点的な集貨等の取組みを実施
- ・航空物流支援事業(苅田町連携) **42百万円**
集貨ルート of 確立や特殊大型貨物(シー&エア輸送)の取込みを目的に、トラック経費の支援や他空港に比べ不足する人材・機能面の支援等に取り組む他、新たに、持続可能な物流の構築に向け、GSE車両の共有化支援を実施

●稼げる「産業」をつくる

北九州港

- 新規** ・浮体式拠点開発検討事業 **10百万円**
「浮体式」基礎の普及を見据え、響灘西地区埋立地の拠点化に向けた用地の整備方針を検討
- 新規** ・洋上風力O&M競争力強化事業 **6百万円**
地元企業の新規参入及び既存O&M企業における事業領域の拡大を促進するため、市内事業者を対象にした関連資格の取得等を支援
- ・洋上風力関連産業用地整備事業 **464百万円**
響灘東地区への洋上風力関連企業の進出促進に向け、公共インフラ整備や整地等を実施

風力発電関連産業の総合拠点化を目的として、響灘東地区産業用地への企業誘致活動や風力発電の普及・啓発活動を実施

「彩りあるまち」の実現

●彩りある「時」をつくる

北九州港

拡充 ・クルーズ船誘致・受入事業

54百万円

国内外のクルーズ船社等に北九州港への寄港を働きかけ、安全安心な受入れを実施するとともに、乗船客を市内へ誘導することにより、賑わいの創出と市内経済の活性化を促進

拡充 ・みなとオアシス推進事業

5百万円

「みなとオアシス門司港」を核としたまちづくりを推進するとともに、市民ニーズの高い大型帆船の招聘により、広域的な誘客と更なる賑わいを創出

北九州空港

新規 ・北九州空港魅力向上事業

50百万円

国内外の旅客需要を取り込み、選ばれる空港に向け、年間を通じたイベントや魅力的なフロアづくり等の魅力向上に、北九州エアターミナルと連携して実施

新規 ・北九州空港開港20周年記念事業

2百万円

令和8年3月に迎える北九州空港開港20周年を記念するとともに、更なる利用促進に向け、セミナーイベントや記念チャーター便の運航を実施

「安らぐまち」の実現

●生活基盤の「安心」を支える

北九州港

・海岸(高潮)事業

30百万円

新門司地区において、高潮災害から立地企業を守るため、防潮堤を整備

【問合せ先】

港湾空港局 総務課
日比野(課長)、宮浦(係長)
TEL 093-321-5916